

認知症サポーター養成講座と町の福祉に関する講話

多良木中学校の総合的な学習の時間の3年生テーマ『私と多良木の未来を考える』～いま、私たちにできること～』に係る学習として、社協職員が学校を訪れ、約90人を対象として「認知症サポーター養成講座」と「町の福祉に関する講話」を行いました。

「認知証サポーター養成講座」では、脳のはたらきや、加齢に伴う変化、認知症の原因となる疾患と認知症のタイプによって異なる症状などを説明しました。その後、認知症の人への対応方法について映像を交えて学んでいただきました。受講後には、「認知症の方へは、優しく、急に声をかけないようにしたいと思います」などの感想が聞かれました。



最後に、地域で暮らす認知症の方やその家族を応援する認知症サポーターの証として生徒や先生にオレン

ジリングが手渡されました。

別日に行われた「町の福祉に関する講話」では、多良木町の将来を考



える一環として、町社協の事業で実施している地域福祉事業の内容や、介護保険事業所の職員を講師に日ごろ行っている業務の内容などを紹介しました。また、令和2年7月豪雨に伴う災害時に開設した災害ボランティアセンターの活動内容なども事務局の福祉活動専門員が説明しました。講話を聴いた生徒からは、「私たち中学生でもできるボランティアはありますか」や「今年の台風被害に



よるボランティア活動はありますか」などの質問がありました。

第55回高齢者グラウンド・ゴルフ大会



- 優勝 黒肥地7区
- 2位 多良木3区の1
- 3位 黒肥地10区
- 4位 多良木8区の1
- 5位 多良木10区の1

高齢者の健康づくりと老人クラブ会員の親睦を図るため、老連主催の高齢者グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。世代間交流グラウンドにおいて、26チーム(173人)の参加のもとコロナ禍で数年ぶりの開催となりましたが、当日は天候にも恵まれ熱戦が繰り広げられました。大会の成績は次のとおりです。

- 西 ムスブ(故 愛國) 多10区の2
- 前田さとみ(故野田政男) 多5区の2
- 桑原重実(故 米子) 久9区
- 尾方龍治(故 誠一) 多2区の1
- 岩崎正行(故 やよい) 久9区
- 川越妙子(故 芳男) 黒7区
- 桑原弘之(故 安寛) 黒8区
- 面京子(故 幸男) 多9区の2
- 竹下太(故 シマエ) 黒3区
- 野村孝幸(故 トキセ) 多11区の2
- 岩崎俊一(故 フミ子) 多11区の1
- 中村あつ子(故 和徳) 多7区の2
- 次の方々から社会福祉のためにとご寄附をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。(敬称略・受付順)

